

科目「情報処理概論」の近況報告

ネットコミュニケーション研究部門
久保田真一郎

はじめに

情報分野の基礎的な知識と技能習得を目標とした科目「情報処理概論」を学部2年生を対象に開講している。この科目は学部1年生を対象とした科目「情報基礎」の後続科目に位置づけられる。情報処理概論はLMSを用い、各回の学習はオンラインクイズを中心に行われる。このため、受講者は教員が定めた期間内であれば、いつでもどこでも学習を行うことができる。この科目の近況について報告する。

科目「情報処理概論」について

この科目は下記学部学科2年生の後期学期に開講され、講義回数が7回の必修科目となっている。例年、受講者は1000名を超え、対面集合型講義で行うには規模が大きいため、オンラインで実施される。平成23年度の受講者は1095名であった。

- 法学部
- 教育学部
- 理学部
- 工学部社会環境システム
- 工学部建築
- 工学部機械
- 工学部マテリアル

質問掲示板の設置とツイッターの利用について

一昨年度、昨年度とアンケート結果において、「(メールでの)質問はためらわれた」を選択した受講者が約15%を超えており、「(教員の顔もわからず)不安が大きかった」を選択した受講者が約11%であった。昨年度は質問用の掲示板を設置するという工夫を行い、ある程度の効果は見られたが、さらに改善するため、今年度はツイッターを使った情報提供によるコミュニケーションを試みた。

方法としては、科目用にツイッターアカウントを作成し、そのアカウントで科目に関する情報を提供した。学習コースのトップページには、アカウントへのリンクをはり、ツイッターアカウントを持たない学生にもリンク先でツイートを閲覧できるように整備した。

そのリンクの閲覧回数を確認したところ、延べ1519件の閲覧回数であった。また、約60名の学生が、この科目のツイッターアカウントをフォローして利用していた。全受講者の1割にも満たないが、アンケートの自由記述に2件ではあるがポジティブな回答を得ており、ある程度の効果があったのではないかと考えている。アンケート項目の「(教員の顔もわからず)不安が大きかった」という回答する受講者が、2010年は10.9%であったのに対して、9.8%に減少しており、このアンケート項目にあるようにツイッターアカウントでの情報提供が教員と学生の距離感を縮める効果があるのではないかと考え、引き続き調査を行う予定である。

質問を気軽にできるよう引き続き、掲示板を設置したが、アンケート項目「(メールでの)質問はためらわれた」の回答は15.1%と昨年度より増加することとなり、掲示板の設置効果をあらためて考えさせられる結果となった。その掲示板の閲覧回数は延べ8834件であり、掲示板に掲載される情報には十分関心があることがうかがえる。一方で書き込み件数は、22件とそれほど積極的には利用されていない。アンケートにも「記名での書き込みのためためられる」といった内容の記述もあり、他者に質問を見られることに抵抗を持つ受講者がいることも書き込み件数が伸びない原因のようである。

昨年度、20件で今年度も同程度であったことから、その利用者は2%程度で変化がない。この2%の受講者は自分のために質問することもそうであるが、質問し意見を出し、共有することに抵抗がない受講者とも考えられ、現代のソーシャルメディアを利用したオンラインでの情報共有や情報収集が効果的に働くと思われる。一方で、ほとんどの受講者がこのような場の利用を好んでいないということも伺え、ソーシャルメディアを利用できる適応性を育成する工夫が必要なのではないかと考えている。

アンケート結果について

今年度は994件あり、アンケートの自由記述箇所に注目した。自由記述内に「難」「むずか」などのネガティブなワードを含む記述が108件、「よかった」「良かった」「楽し」などのポジティブなワードを含む記述が223件であった。ポジティブな意見には、「自信となった」という意見も見られ、知識的な理解を超えた学習態様の変化も見受けられた。ネガティブな意見に多いのは、この科目で扱うことを難しいと感じているようである。このような受講者には、この科目の意義について理解してもらう必要があると考えている。そうすることで、理解しなければならないこととして認識し、その知識をもとにITを活用するにはどうすべきかを考えることのできる人材となって欲しいと思う。

まとめ

昨年度アンケート結果を受け、引き続き質問掲示板を設置するとともに、科目においてツイッターを利用し、情報発信を行った。質問できる環境が充実したと感じる受講者は残念ながら増えてはいないが、ツイッターにより教員を身近な存在に感じてもらえたという感触を得た。今後、次の検討を進める予定である。

- ツイッターなどのソーシャルメディアの利用
- 科目で求められる知識と実際の利用シーンとの関連性を示し、学生の学習意欲につなげる